

第22回神奈川産学チャレンジプログラム レポート作成規程

一般社団法人神奈川経済同友会

1. レポートの構成

表紙、目次、要旨、本文、注釈・資料の順に構成してください。

(1) 表紙 (1 ページ)

表紙には、グループ番号、テーマ提示企業名、テーマ名、大学名、チーム名、リーダー、サブリーダー、それ以外のメンバー全員の氏名・学部・学科・学年それぞれ記載してください。

(2) 目次 (2 ページ)

ページ1枚で作成してください。

(3) 要旨 (3 ページ)

本文の要旨をページ1枚にまとめてください。

(4) 本文 (4 ページ以降)

本文枚数は、20 ページ以内にまとめてください。なお、この枚数には表紙、目次、要旨、注釈・資料は含みません。

(5) 注釈・資料

注釈・資料は10 ページ以内にしてください。また、参考文献や引用については、必ず出所・出典を明記してください。

2. レポートの作成に関する注意事項

・レポートの作成に際し引用を行う場合は、以下の文化庁ルールに従ってください。

- ア 既に公表されている著作物であること、
- イ 「公正な慣行」に合致すること
- ウ 報道、批評、研究などのための「正当な範囲内」であること
- エ 引用部分とそれ以外の部分の「主従関係」が明確であること
- オ カギ括弧などにより「引用部分」が明確になっていること
- カ 引用を行う「必然性」があること
- キ 「出所の明示」が必要（コピー以外はその慣行があるとき）

・実施要綱・実施細則に違反する事実やアイデアの盗用、第三者の著作権やその他の知的財産権の侵害、その他不正があった場合は、審査対象外あるいは受賞取り消しとなる場合があります。

- ・「要旨」は、レポートの内容（目的、方法、結論など）を簡潔にまとめてください（「序論」と混同しているのか、結論が書かれていない等、「要旨」と異なる例が散見されます）。
- ・「生成A I」を利用してテーマに取り組むことは可能ですが、以下に留意してください。
 - ア. 生成A Iから得られた文章を「そのまま」自らのレポート・プレゼンテーション資料として提出することは禁止します。また、生成A Iを活用してレポート・プレゼンテーション資料を作成する場合は、その内容について必ずファクトチェックを行ってください。そのうえで「注釈・資料」等により、「どの部分でどのように活用したか」について明記してください。
 - イ. 企業から提供された情報を生成A Iで分析する場合は、「A Iが外部にデータを参照させないような設定を行う（オプトアウト）」あるいは「匿名性ある情報に加工する」などにより、情報漏洩とならないよう十分留意してください。
 - ウ. 参加企業がセキュリティ等の理由から「生成A Iの利用を禁ずる」場合は、その指示に従ってください。6月の企業説明会で、参加学生に対してその旨説明があります。
 - エ. 生成A Iの利用を認める企業は、生成A Iの活用方法が「優れている場合」や「不適切な場合」に評価を加減点することがあります。

3. レポートの体裁

- ・ レポートは、原則「Microsoft Word」で作成（※）し、「PDFファイル」に変換して提出してください。 ※ Word以外の書式で作成したい場合は、事前に企業の実情を調査してください。
- ・ 表紙は、本規程添付のフォーマットをご使用ください（フォーマットの体裁は変更不可）。グループ番号は、神奈川経済同友会より大学宛通知された番号です。テーマ番号およびテーマ名は間違いのないように記載してください。
- ・ ページ番号は表紙を1ページ目とし、ページ下部中央にふってください。
- ・ レポートは、表紙、目次、要旨、本文、注釈・資料の順番とし、1つのPDFファイルにまとめてください。
- ・ PDFのファイル名は、「テーマ番号+グループ番号+大学名+チーム名」としてください。
 - （例）T08G01021 青学山本チーム
- ・ テーマ番号、グループ番号を「半角」、大学名、チーム名を「全角」としてください。
- ・ レポートのファイルサイズは、掲載する写真や画像のファイルサイズを圧縮する等により、できるだけ小さくするようにしてください。

4. レポートの提出

- ・ レポートの提出方法は大学の指示に従ってください。
- ・ 提出締切日は大学が設定しますので、それまでにご提出ください。
- ・ 一度提出したレポートの内容変更はできません。
- ・ レポートを大学に提出する前に、「提出レポートチェック表（学生用）」でセルフチェックして、不備のないことを確認してください（チェック表はレポートと一緒に大学に提出してください）。
- ・ 当規程に反するレポートは、失格となることがあります。

以上

第22回神奈川産学チャレンジプログラム 研究レポート

グループ番号	
--------	--

企業名		テーマ番号	
テーマ名			

大学名		チーム名	チーム
-----	--	------	-----

※チーム名はリーダーの苗字です

<メンバー>

【リーダー】

氏名		学籍番号 (学生番号)	
学部名		学科名	学年

【サブリーダー】

氏名		学籍番号 (学生番号)	
学部名		学科名	学年

【メンバー】

氏名		学籍番号 (学生番号)	
学部名		学科名	学年

氏名		学籍番号 (学生番号)	
学部名		学科名	学年

氏名		学籍番号 (学生番号)	
学部名		学科名	学年

氏名		学籍番号 (学生番号)	
学部名		学科名	学年

第 22回神奈川産学チャレンジプログラム 提出レポートチェック表(学生用)

チェック日 _____

グループ番号 _____

チーム名 _____ チーム _____

項目	チェック (✓)
レポートの表紙は所定のフォーマットを使用し、記載事項がもれなく記入されているか	
目次・要旨は各 1 ページ、本文は 20 ページ以内、注釈・資料は 10 ページ以内となっているか	
表紙を 1 ページ目とし、ページ下部中央にページ番号をふっているか	
レポートは、表紙、目次、要旨、本文、注釈・資料の順番とし、ひとつの PDF ファイルにまとめているか	
PDF ファイル名は「テーマ番号+グループ番号+大学名+チーム名」となっているか(※)	
チームメンバーが変更となっている場合、大学・企業に報告を行っているか (→報告していない場合は、速やかに大学・企業に報告)	
写真・画像を圧縮すること等により、レポートのファイルサイズをできるだけ小さくしているか	

→すべてにチェックが入ったことを確認して大学に提出

(※)(例)T08G01001 青学山本チーム

テーマ番号、グループ番号を「半角」、大学名、チーム名を「全角」としてください。

大学名は右の表の略称で
ご記入ください。

大学名	略称	大学名	略称
青山学院大学	青学	東海大学	東海
神奈川大学	神大	東京都市大学	都市
鎌倉女子大学	鎌女	東洋英和女学院大学	東洋
関東学院大学	関東	フェリス女学院大学	フェリス
國學院大學	國學	明治大学	明治
相模女子大学	相模	横浜国立大学	横国
産業能率大学	産能	横浜商科大学	横商
松蔭大学	松蔭	横浜市立大学	横市
専修大学	専修	横浜美術大学	横美
桐蔭横浜大学	桐蔭		